



## 行政視察等報告書

安来市議会議長 様

報告者 会派 青雲クラブ  
議員 丸山 征司

この度、行政視察を行いましたので報告します。

### 記

期日 平成 28 年 4 月 20 日 ～ 平成 28 年 4 月 21 日

行先 第 9 回地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー  
(株) 社会保険研究所 東京都千代田区内神田 2-4-6、WTC 内神田ビル 7 階

日程 別紙のとおり

参加者 丸山 征司

合計 1 人

同行者 丸山 弘子 (付き添いの為、母が自己負担で随行)

視察内容 別紙のとおり

## 研修参加報告

(会派 青雲クラブ)

### <研修目的>

ゆりかごから墓場まで、地域における包括的な支援の方法や災害復興法学を学ぶ事により、弱者の為にある政治の原点として、社会保障における理解力と提案力を増進する為。

### <研修概要一覧>

視察月日	研修先	研修施設	研修内容
平成 28 年 4 月 20 日 (水)、21 日 (木)	(株) 社会保険研 究所	(株) 社会保険研究所 東京都千代田区内神 田 2 - 4 - 6、WTC 内神田ビル 7 階	第 9 回地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー

### <研修概要報告>

#### 1. ●概要：(資料別紙)

##### 《説明概要》

講義 1 「若い世代から発信する日本の社会保障とは」について

20 代、30 代、40 代のゼミ生がそれぞれ自分の考える日本の社会保障を述べられ、講師の石川治江先生が総括されました。

#### 2. 講義 2 「エビデンスに基づく子育て支援システムの構築」について

コミュニティー・カルテ・システムを使って調査する事によって、自治体行政上重要な要因の解明に繋がる事を分析手法も含めて学びました。

#### 3. 講義 3 「子ども・子育ての現状と課題」について

少子高齢化の進展の中、中長期的に労働力を確保していく為には、若者・女性・高齢者などの労働市場参加の実現と、少子化の流れを変える事を同時達成する必要との事で、私も同感です。

結婚・出産・子育てにおいて、国民の希望と現実に大きな乖離があり、その乖離を生み出している要因を取り除いていく政策努力が必要、全ての子どもの育ちを社会全体で支え、地域で安心して子育てが出来る環境を確保していく事が必要との事です。

#### 4. 講義 4 「災害復興法学のすすめ～住民ニーズに応える災害救助法と個人情報の徹底活用」について

銀座パートナーズ法律事務所の岡本正弁護士から、表題の講義を受け、奇しくも数日前（4/16）に熊本地震が発生したばかりで、未だ余震冷めやらぬ状況下で、災害復興法学を学びました。

#### 5. 講義5 「地域包括ケアシステムの構築と市町村の役割」について

厚労省老健局振興課長の辺見聡氏に、今後の介護保険をとりまく状況や支え合いによる地域包括ケアシステムの構築や在宅医療・介護連携の推進等について学びました。

#### ●質疑

介護保険制度の改正の主な内容の中で、要支援1・2の訪問介護、通所介護について、今後の見通しを質問しました。

#### <考察>

講義1 若者から見た社会保障、日本の将来像を聴く事は参考になりました。

講義3 私も同感であり、この6月議会において早速、私の考える結婚・出産・子育ての妨げとなる要因を取り除く政策提言をしました。

子ども・子育ての現状と課題を示す詳しくわかりやすい資料がとても参考になりました。

講義4 タイムリーなテーマですが、もちろん主催者側も受講者側も熊本地震を予見出来た訳ではなく、東日本大震災の教訓を題材にしています。災害発生直後は72時間のサバイバルと言われ、これまで、住民も自治体もまず3日間無事に生き延びる事に主眼が置かれていました。東日本大震災以降、『いのちが助かった後こそ情報や支援が必要になる。では何から始めるか?』生活再建、会社再生、事業継続等を考える場合、例えばお金や契約や仕事等の紛争の元を如何に解決するか、リーガルニーズ（法的需要）に気付くもので、行政や企業や専門家はその支援を考える段階になったようです。

私もこれまで、災害直後のサバイバルを如何に自治体が支えるか、防災、減災の観点でいしましたが、安来市においても防災減災の先の法的需要について、研究準備の必要があると思いました。

以上